

国土交通省

雪崩災害防止功労者表彰式及び雪崩災害防止セミナーの開催

開催主旨：

我が国は世界でも有数の雪の多い国です。国土の約半分が豪雪地帯に指定されており、そこで約2,000万人が生活を営んでいます。豪雪地帯は、北海道、東北、日本海沿岸及び山間部にわたって指定されており、これらの地域では大量の降雪だけでなく、雪が様々な影響を生活に及ぼしています。特に、山間部の住民にとって雪崩は大きな脅威であり、生活への影響のみならず、犠牲者を伴う被害も少なくありません。

今から10年前の「平成18年豪雪」では、北海道から北陸・山陰地方にかけて記録的な降雪に見舞われ、雪崩災害や集落の孤立が多発しました。その後も平成23年（山陰）、平成24年（北海道）、平成25年（東北）と豪雪年が続き、社会的に大きな問題となりました。

翌年の平成26年2月には、積雪深を計測している気象庁アメダスのうち18地点で観測史上1位の積雪深を記録し、山梨県と東京都で人家の一部が破損するなど、集落に被害を及ぼす雪崩が8件発生しました。道路上の積雪や雪崩の発生によって交通障害が発生し、多くの孤立集落が生じました。

また、毎年のように山岳地やスキー場周辺では、登山者やスキーヤー等の雪上レクリエーションを楽しむ方々の雪崩死亡事故が発生しています。

国土交通省と都道府県では、防災・減災の取組の一環として、本格的な雪シーズンを前に、国民一人ひとりが雪崩災害の防止及び被害の軽減の重要性について認識し、理解が深められるよう、毎年12月1日から7日を「雪崩防災週間」として定め、様々な取組を実施しています。その一環として、雪崩災害防止について顕著な功績があった者を表彰するとともに、最近の雪崩災害の特徴と対策等について理解を深めることを目的としたセミナーを下記のとおり開催します。

記

1. 日時・会場

開催日：平成29年1月16日（月） 13:30～17:10
場所：アピオあおもり イベントホール 青森市中央3丁目17-1
JR青森駅よりバスまたはタクシーで約10分
(<http://www.apio.pref.aomori.jp/kashikan/access.html>)

2. 開催機関

主催：国土交通省
共催：青森県・国立研究開発法人土木研究所
協賛：雪崩防災週間推進協議会

3. 参加費・参加申し込み

参加費無料、事前申し込み制（先着順・FAXにて申し込みください）
（対象・参加人数：雪崩対策に関わる行政担当者および民間コンサルタント等の技術者、及び関心のある方100名程度）

4. 申し込み方法等

申し込み期限：平成28年12月26日（月）
申し込み先：青森県県土整備部河川砂防課
担当：砂防グループ 三橋 TEL：017-734-9670 FAX：017-734-8191

5. プログラム

開 会	(13:30~13:40)
主催者挨拶 国土交通省砂防部長 西山幸治 開催県挨拶 青森県県土整備部長 鈴木 潔	
雪崩災害防止功労者表彰式	(13:40~14:00)
表彰 表彰者受賞挨拶	
雪崩災害防止セミナー	(14:00~16:55)
《基調講演》	(14:00~15:10)
「青森・北海道における近年の雪崩災害」 北海道教育大学札幌校教授 尾関俊浩	
《休 憩》	(15:10~15:20)
《話題提供》	(15:20~17:05)
「ニセコ山系における雪崩に対する安全対策」 新谷暁生 (功労者表彰受賞者)	(15:20~15:50)
「青森県の雪崩災害及び対策について」 青森県県土整備部河川砂防課 砂防グループマネージャー 阿部伸樹	(15:50~16:05)
「雪崩対策施設の維持管理」 青森県県土整備部道路課 維持補修グループ 技師 古関智啓	(16:05~16:20)
「雪崩に関する基礎知識」 土木研究所土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター 上席研究員 石田孝司	(16:20~16:40)
「土木研究所における雪崩対策に関する取り組み」 土木研究所土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター 主任研究員 松下拓樹	(16:40~16:55)
《質疑応答》	(16:55~17:05)
閉 会	(17:05~17:10)
東北地方整備局 河川部長 畠山慎一	

6. 問い合わせ先

雪崩災害防止功労者表彰式

国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部砂防計画課
担当：山本 Tel 03-5253-8466 Fax 03-5253-1610

雪崩災害防止セミナー

(国研)土木研究所 雪崩・地すべり研究センター
担当：松下・石田 Tel 0255-72-4131 Fax 0255-72-9629